

## 2007 年度事業計画

### 前書き

私たちのエスペラント活動は、昨年（2006年）の日本におけるエスペラント運動百周年に際して、各地の仲間による講習会、新たな辞書の刊行などで盛り上がりを見せている。

しかしながら、世間的なエスペラントに対する認知としてはまだまだ不十分である。特に教育行政では、国際化の美名のもとに英語教育への一極集中をはかる動きが加速している。これは、私たちエスペラント界が「国際語エスペラント運動に関するプラハ宣言」で訴えている「言語の多様性」、さらには「人間の解放」に逆行する流れでもある。そこで、われわれは平等と公正の考えに立つ言語秩序体系と、その具体化であるエスペラントの立場を世間に訴えていく。また、それと併行して、エスペラントを実践し、使用する人材の育成にあたり、その人材による活動成果としてのエスペラント文化の蓄積・流通を盛んにしていく。

上記の基本的な情勢と立場を踏まえて、次の方針で臨む。

#### 1. 第92回世界エスペラント大会の成功

第92回世界エスペラント大会、および、本会が共催、協力する諸行事を成功させる。これを機に、国内エスペランティストのエスペラントを用いての交流能力の向上をはかる。また、エスペラント運動団体どうしの協力を緊密化する。さらにアジア地区のエスペラント運動においては、人的協力をすすめる。

#### 2. 日本のエスペラント運動第二世紀のはじめに

昨年（2006年）の日本のエスペラント運動百周年において醸成された、関連する、友好関係の諸エスペラント団体との協力、会員間のエスペラント運動に対する意識の高まりをうけ、今後のエスペラント活動の一層の基盤整備、活動の活発化をはかる。これにより、広報、学習支援、知的財産の蓄積などをすすめる。

### 総務部

#### ■基本方針

1. UKに関連して増大している業務をボランティアの支援を得て着実に実行する。
2. 他部署の事業が円滑に進行するよう支援する。

#### ■定例事業

1. 総務関連諸事業、施設管理事業は、事務局および関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会、八ヶ岳エスペラント館運営委員会）の協力を得て抜けの無いように実行する。
2. 図書販売関連事業は、販売における機会損失の無いことを心がける。
3. 図書館関連事業は、ボランティアの協力を得て、管理・運営を継続する。
4. 資金管理は、本来の目的に添った活動に努める。
5. 公益法人制度改革への対処を継続する。

#### ■重点事業

1. 各種基金制度の検討を初年度内に終了する。
2. 寄附行為の総点検を行う。
3. UK 成功のために予算の許す限り通常業務へのボランティアの協力を得て事務局機能を最大限発揮する。

## 組織部

### ■基本方針

1. 日本の責任あるエスペラント組織として、エスペラント諸事業の実施のために、国内エスペラント団体との連携を進める
2. 本会の活動の基盤である会員への支援と会員からの支持の強化を図る。
3. このため、各定例事業を進め、実施体制の拡充を図り、日本のエスペラント 第2世紀の初頭にふさわしい活動基盤の整備に努める。

### ■定例事業

#### 1. 会員・支部

- (1) 支部代表者会（4月）、会員総会（10月）、支部報（季刊）、会誌「La Revuo Orienta/エスペラント」組織部だより（不定期）を通じ、会員・支部との情報共有、エスペラント運動の課題への取り組みの意見交換を進め、施策に反映する。
- (2) 更新期通知、新入会員アンケート等の実施により会員の拡大・定着への働き掛けを継続する。
- (3) 諸施策検討および評価の基礎資料として会員状況の資料を作成する。

#### 2. 国内エスペラント団体

- (1) 団体へのアンケートをもとに運動年鑑を作成する。エスペラント団体の活動記録、情報共有のため。
- (2) 行事の後援
- (3) エスペラント会・支部懇談会を日本大会の中で開き、エスペラント活動の連携・経験交流を進める。

#### 3. 日本エスペラント大会

- (1) 大会の継続的開催のため、KKK（大会常置委員会）委員としての活動を行う。
- (2) KKS（大会常任書記）を支援する。

#### 4. 日本大会支援基金

- (1) アジアの国別組織からの大会参加費、KKS活動支援に支出する。

### ■今年度の重点施策

1. 青年会員の観点を入れ、必要な対応がなされるように提案する。
2. 組織部の体制の充実を図る。
3. 連盟レベルとの協力体制を模索する
4. エスペラント会への支援策を検討する。あらたにエスペラントを始める人を増やせるように。
5. KKSの交代に対応してKKKとともに支援体制の再構築をおこなう。

## 国際部

### ■基本方針

1. UEA（世界エスペラント協会・Universala Esperanto-Asocio）と協力しながら事業を行う。
2. アジア地域については UEA の KAEM（アジア運動委員会・Komisiono de UEA pri Azia Esperanto-Movado）を通してエスペラント運動の発展をはかる。
3. 国内外のエスペランティストの国際的なエスペラント活動を支援する。
4. 第 92 回世界エスペラント大会（8 月 4 日-11 日，横浜）のため，国際的な広報活動や組織活動に協働する。

### ■定例事業

#### 1. UEA との協働

- (1) 選出された UEA 国際委員と共に，UEA の諸活動に対する協働をすすめる。
- (2) UEA 個人会員増加のために，JEI の諸活動と連動させながら広報や募集活動を続ける。
- (3) UEA アジア基金(Fondaĵo Azio de UEA)について，募集と実務的な協力を継続する。
- (4) 第 92 回世界エスペラント大会に参加協力を呼びかける。
- (5) 同大会の開会式に各国大使を招待する UEA や LKK（国内準備委員会・Landa Kongresa Komitato）に，必要に応じて協働する。

#### 2. UEA アジア運動委員会（KAEM）とアジアの運動への協力

- (1) KAEM の小委員会(Subkomisiono de KAEM)の部員は，KAEM の事業計画の Projekto C（アジアの活動家を UEA 会員へ）や，"Esperanto en Azio"(『アジアのエスペラント』誌)の発行・発送に対する援助を継続する。
- (2) 第 94 回日本エスペラント大会（10 月 26 日-28 日，群馬）でアジア活動分科会(Azia Agado)を主催する。
- (3) 日本に来訪するアジア人エスペランティストに対する援助を継続する。
- (4) 第 63 回国際エスペラント青年大会（7 月 27 日-8 月 3 日，ヴェトナム・ハノイ）に参加協力を呼びかける。
- (5) 第 5 回アジアエスペラント大会（2008 年 2 月 11 日-15 日，インド・バンガロール）に参加協力を呼びかける。

#### 3. デレギート (delegito=UEA 会員世話人) 連絡網

- (1) UEA の関係機関に協力し，国内のデレギートの活性化につとめる。
- (2) 第 92 回世界エスペラント大会のデレギートに関する分科会に協力する。
- (3) 第 94 回日本エスペラント大会会期中にデレギートの分科会を開催する。

#### 4. 国際文通サービス

担当部員，JEI 事務局，ホームページ担当者の連携により事業を継続し，関西エスペラント連盟国際部との資料交換や協力も継続する。

### ■重点事業

1. 第 92 回世界エスペラント大会を国際的に広報するため，担当者を決めて具体的に取り組む。

2. 同大会に JEI が招待する 23 人のアジア諸国からの参加者のための「アジア招待委員会」の事業を実施する。
3. 同大会のプログラムで、UEA と LKK が協働するものについて協力する。
4. 同大会の一般公開番組での通訳ボランティア協力を呼びかける。
5. 同大会の大会前後遠足での観光案内・通訳の養成につとめる。

## 編集部

### ■基本方針

1. 会誌「La Revuo Orienta/エスペラント」を、本会の活動方針に沿って編集・発行し、エスペラント運動の発展に寄与する。
2. 全国、地方、県などの各段階でのエスペラント運動を相互に結ぶ機能を重視する。
3. 編集に当たっては、運動、学習、教養の3つのバランスを重視する。

### ■定例事業

1. 40 ページを原則として機関誌を毎月（8・9月号は合併号）を発行する。
  - (1) 視覚障害者、高齢者向けの音声版会誌の発行を拡大する。
  - (2) 点字版製作に協力する。
2. 読まれる、運動に役立つ機関誌になるよう、次の点に留意する。
  - (1) 会員の興味・関心・学習段階に沿ったものにする。
  - (2) 運動の流れを作るようにする。
  - (3) 国内外に目を配った構成にする。
  - (4) エスペラント文と日本語文との分量の調和をはかる。
  - (5) 会員参加型の誌面にする。
  - (6) 視覚的な要素を重視する。
3. 編集体制を強化する。
  - (1) 毎月編集会議を開く。年初めには拡大編集会議を開き、新しい方針の確立を行う。
  - (2) 編集委員の拡大を図る。
  - (3) 編集業務の無駄をなくし経費節減に努める。
  - (4) 著作権管理について検討する。

### ■重点事業

1. 第92回世界大会の成功とその後の運動の発展に寄与する誌面作りを行う。
  - (1) 4-7月号は、大会参加者、また海外の参加者を視野に入れた特集を組む。
  - (2) 8-9月合併号は、大会参加者に役立つような特集にし2000冊を増刷し参加者に配布する。
  - (3) 大会後も、大会の成果が運動に生きるよう10月、11月号で大会特集などを企画する。

## 研究教育部

### ■基本方針案

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の育成、エスペラント入門のための素材提供、学校におけるエスペラント授業への支援、エスペラント界外でのエスペラント教育に関する事業への支援等に取り組む。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組む。

## ■定例事業

### 1. 試験制度の運営

- (1) エスペラント学力検定試験と新学力テストを日本エスペラント大会、エスペラントセミナー、希望する地方会等で実施する。
- (2) エスペラントを正規科目として取り入れている学校での実施をすすめていく。

### 2. 講習会・講座等の実施

- (1) 入門・初心者講習会講師要請講座、中級講習会講師養成講座、その他の講座・講習会を行う。
- (2) 教授法・教材等について研究し（教授法研究会）、講習会講師用手引書の作成にむけて努力する。
- (3) 組織部と協力してエスペラント界外への様々な団体・組織等に講座開催を呼びかける。
- (4) 上記団体・組織あるいは学校など、要請に応じて講師派遣を行う。
- (5) 派遣講師のネットワーク化をはかる。
- (6) J E I 認定講師制度の確立に向けて検討を行う。
- (7) 教材（インターネット版を含む）の開発を準備する。

### 3. 国際教育者エスペランチスト連盟（I L E I）日本支部の活動の支援

教職員エスペラント協議会（A L E）やその他、教育関係のグループや個人と協力して、日本支部としての活動ができるよう支援していく。

### 4. 教職員エスペラント協議会（A L E）との協働

- (1) A L E と協力して、学校へエスペラントを紹介する機会を増やしていく。
- (2) A L E と協力して、日本の小・中・高校および大学でのエスペラント教育についてのアンケートを行い、まとめを行う。
- (3) 学校と関わりのあるエスペランチストにアンケートを行い、関係者のネットワーク化をはかる。

### 5. エスペラントセミナーの実施と体制作り

- (1) 中級セミナー、全国セミナーを実施する。
- (2) 各地のグループ・団体と共催で行う場合の円滑な運営のために手引書を作成する。

### 6. 紀要『エスペラント研究』の発行

広義のエスペラント学振興のための紀要『エスペラント研究/Japana Esperantologio』については、紀要編集委員会において、第3号の編集・発行を行う。

### 7. 研究発表会の実施

日本エスペラント大会を主にして年1回以上、エスペラント学に関する研究発表会を実施する。

## 8. J E I 公開シンポジウムの実施

エスペラントに直接関連しないテーマをとりあげた公開シンポジウムを実施する。

## 9. その他

### ■重点課題

#### 1. UKヘルパント向け直前講座への協力

- (1) 一般的情報、会場周辺情報、プログラムに関する、具体性をもったヘルパント向け講座に協力する。
- (2) 首都圏以外ので中級セミナー実施を働きかける。

#### 2. 第5回新渡戸シンポジウムの実施

8月2日(木)、8月3日(金)に上智大学においてUEA、上智大学ヨーロッパ研究所と共催で第5回新渡戸シンポジウムを開催する。

#### 3. 全国セミナーの実施

5月3～5日、神戸市セミナーハウスで第40回全国セミナー／第39回林間学校として、KLEEGと共催で開催する。UK向けの特別講座を用意し、UKへの関心が高まるよう、特に西日本在住のエスペランチストに参加を促す。

#### 4. 第40回教育者エスペランチスト連盟大会(La 40-a ILEI-Konferenco)開催への協力

8月11～19日、埼玉県嵐山町の国立女性教育会館で行われる大会の国内組織者であるILEI日本支部の活動を支援し、成功させる。

#### 5. 試験委員会の設置を含めたシステムの再構築をはかり、受検機会の拡大をはかる。

## 広報部

### ■基本方針

1. UK横浜推進のための国内広報を行う。
2. 他部署における事業の趣旨に沿った広報を展開する。
3. JEI支部における広報活動を支援する。

### ■定例事業

1. 広報渉外、情報収集・提供など広報活動一般を実行する。
2. 広報資料の発行に努める。
3. 広報イベント、公開講演会等を開催する。
4. ウェブ編集部の協力を得て、更新、刷新を行う。

### ■重点事業

1. UKをエスペラント一般の広報機会として活かすため、組織部と協働してJEI支部に対して、地元における広報強化を働き掛ける。
2. UKに向けてアクセスの増大が予想されるホームページの充実、刷新を図り、着実な更新に努める。
3. UK記念講演会、William Auld記念講演会、エスペラントの日記念講演会、を適宜開催する。

4. 組織部と協働して、各支部に広報担当者の設置を働き掛ける。
5. 他部との連携を強化する。
6. 広報部員を広く募集し、活動の拡大を図る。

## 出版部

### ■基本方針

1. エスペラント文の図書出版，エスペラントに関する図書出版，エスペラント学習書の出版，その他エスペラント出版関連活動を行う。
2. エスペラント日本語辞典の改訂版の出版を検討する。
3. 日本語エスペラント辞典の改訂版の出版を検討する。
4. エスペラント図書の電子出版を検討する。

### ■定例事業

1. 出版委員会を設置し，同委員会を定期的に関き，基本方針に上げた出版を検討する。
2. 品切れ図書を点検し，補充を検討する。

### ■重点事業

1. UKを記念して，既刊のエスペラント書籍から選定し，原爆体験記を出版する。
2. 『La Revuo Orienta / エスペラント』誌の総目次を作成する。

## 第92回世界エスペラント大会

### ■基本方針

2007年8月に横浜で開催される世界エスペラント協会（UEA）主催第92回世界エスペラント大会へ向けて，国内準備委員会（LKK）を中心に以下の事業を進め，成功のために努力する。

### ■重点事業

#### 1. 世界エスペラント大会の準備作業について

- (1) 5月にUEAの世界大会事務局長（KKS）を迎え，国内準備委員会とヘルパント（援助協力者）連絡会を開催し，準備作業にあたる。
- (2) 横浜市長レセプションについて，横浜市と打合せを進める。
- (3) 引き続きヘルパントの募集を行い組織する。
- (4) 大会ホームページを充実させ，引き続き世界大会に関連する情報を提供する。
- (5) 関連部と協働して，国内外への広報に努める。
- (6) 前夜祭（Interkona Vespero），日本の夕べ（Nacia Vespeo）を企画，準備する。
- (7) 日本紹介プログラムについて検討し，UEAへ提案する。
- (8) 劇，コンサート，日本語速習講座などにつき，UEAと共に準備を進める。
- (9) ZAIMで青年・公開番組「横浜エスペラント週間2007」を企画する。
- (10) 大会前に東京で行われる新渡戸シンポジウムについて，必要とされる支援を行う。
- (11) 大会中発行する大会速報（Kongresa Kuriero）の編集プランを立てる。

- (12) U E A と協働し開会式へ各国大使を招待する。
- (13) 大会誌 (Kongresa Libro) の編集と出版に協力する。
- (14) 会場で使用する機器 (パソコン, コピー, マイクなど) と資材について計画を立て用意する。
- (15) 記者会見を計画し, 新聞社へ大会概要と招待状を発送する。
- (16) 配布資料を用意し, 大会資料袋, 名札を発注する。
- (17) 託児所の準備をし, 世界大会参加者の便宜をはかる。
- (18) 大会受付とサロンの準備をし, 大会中の L K K とヘルパントの役割を確認する。

## **2. 世界エスペラント大会後の作業**

- (1) 大会資料を欠席者に送付する。
- (2) 大会収支をまとめ, 収支報告を U E A へ送る。
- (3) 大会報告書を編集・刊行する。